

ランチョンセミナー3

間質性肺疾患における 呼吸管理の実際

日時

2026年7月4日（土） 12:25～13:15

会場

第5会場 国立京都国際会館 2F RoomB-1
〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422

座長

平井 豊博 先生
京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授

演者

池添 浩平 先生
京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 助教

間質性肺疾患（Interstitial lung disease: ILD）は多種の疾患を含み、その臨床経過は多様であるが、特発性肺線維症をはじめとして、進行性で予後不良の疾患が多く含まれる。ILDは慢性期において、疾患進行に伴い呼吸不全を呈することが多く、また安静時と比較して労作時に著明な低酸素血症を生じやすいため、労作時の在宅酸素療法の適応となる症例が少なくない。また胸膜肺実質線維弾性症等では在宅NPPVや在宅高流量鼻カニューラ酸素療法が有用となる症例も存在する。一方急性期においては、急性増悪がILDの致命的合併症として重要であり、呼吸管理を必要とする。本セミナーではまずILDの診断、管理・治療の概要について説明した上で、慢性期と急性増悪時の呼吸管理について、自施設における症例や呼吸管理の実際について提示し、文献的考察を交えながらILDにおける呼吸管理の現状と課題について紹介する。

本セミナーのご参加には本学術講演会への参加登録が必要です。
参加登録方法は、本会Webサイト（<https://jsrcm48.umin.jp/>）をご確認ください。
※整理券の配付はございません。